

項目		旧計画（徳島市）	今回、検討する内容	備考
大ホール	席数	<ul style="list-style-type: none"> ・1500席程度 ・どの客席からも舞台を良好に視認できるサイトラインの確保 ・親和性の高いコンパクトな多層式の客席空間 	<ul style="list-style-type: none"> ・県を代表する施設として「2000席規模」をベースとした上で、建設地の面積や形状、さらに中小ホールやリハーサル室等の配置を勘案して適正規模を検討 ・サイトラインの確保、親和性の高いコンパクトな客席空間 	
	舞台全般	主舞台（間口10間、奥行き9間程度）と、主舞台の上手、下手に舞台袖（間口5間、奥行き9間程度）	ホール規模が大きくなれば、舞台間口も相応に、大きな幅が必要となる。	
	舞台設備・備品等	<ul style="list-style-type: none"> ・吊物バトン等の適正本数配置 ・現代の舞台芸術から古典芸能まで多様な演目に対応できる舞台機構・音響・照明設備を配備 ・ビデオプロジェクター、スクリーンの配置 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・市計画をベースに検討 ・音響、照明、映像等の技術は、日進月歩。後発メリットを発揮すべく、可能な範囲で最新の技術導入を検討 	
	オーケストラピット	任意の位置で高さ調整が可能な電動のオーケストラピット迫りを設け、オーケストラピット、客席、前舞台等として使用することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・市計画をベースに検討 →前舞台とすれば、阿波おどり等の演技エリアの拡大に活用できる 	
小ホール	要否・席数	※見送り	<ul style="list-style-type: none"> ・建設地の面積や、地元文化団体の使い勝手、他施設の規模とのバランス等を考慮し、「300席から500席程度」で検討 	
	基本機能		<ul style="list-style-type: none"> ・平土間型の多目的室タイプが配置しやすい。大ホール規模とのバランスでプロセニウム型を採用するか検討 	

項目		旧計画（徳島市）	今回、検討する内容	備考
リハーサル室 （多目的室）	基本機能	<ul style="list-style-type: none"> ・平土間形式で、日常的な市民の舞台芸術の創作活動や、大ホールのリハーサル、小規模な発表会や鑑賞事業等、多目的に利用可能 ・壁面を一部ガラス張りとし室外から活動状況が見える等、外部で賑わいが感じられるような工夫 	市計画をベースに検討 （ガラス張りにより、外部から活動が見えることは有効。建物全体のコンセプトとしても検討）	
	広さ	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールを想定した練習のため、<u>大ホールの舞台と同程度以上の広さを確保</u> ・天井高は6 m以上を確保するとともに、舞台照明やスピーカーの設置ができるグリッドパイプを設置 	市計画をベースに検討	
活動室、会議室		楽器練習やワークショップなどに対応できる活動室や、スクール形式で利用できる会議室を複数計画	県を代表する施設として、全国大会や会議等で、分科会用のスペースを可能な範囲で多く確保できるよう検討（近隣施設との連携）	
楽屋		大楽屋（25人程度）、中楽屋（15人程度）、小楽屋（定員1～3名）で構成し、合計定員は <u>80人以上</u> とする。	市計画をベースに、それ以上の収容人数となるよう、施設配置等を検討	
搬入口（バックヤード）		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>11tトラック</u>（ガルウイング車両）から雨天でも支障なく荷下ろしが可能な搬入動線を確保 ・搬入口以外の敷地内で<u>11tトラック最低1台分の</u>駐車スペースを確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・搬入導線は重要。市計画をベースに検討 ・<u>11tトラック2台以上</u>駐車スペースを検討 	

項目		旧計画（徳島市）	今回、検討する内容	備考
交流促進・にぎわい創出機能	交流ロビー・エントランス	<ul style="list-style-type: none"> 施設の顔として、大ホールや活動室などを利用する目的でない方も気軽に訪れやすい居心地のよい空間 ロビーコンサートや展示等の催しを開催できる機能 	市計画をベースにさらなる機能アップを検討 [例] <ul style="list-style-type: none"> 中央公園が新ホールの庭と感じられるようなエントランス 常時利用可能なカフェコーナー 等 	
	ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> 開演前や幕間等で観客がくつろぐスペースを確保 徳島中央公園を望め、歴史的・自然的空間と調和した開放的で明るい空間づくりに配慮 主催者等による軽食や飲み物の提供ができるカウンターや水道・電気設備を 1 か所設置 	市計画をベースにさらなる機能アップを検討 [例] <ul style="list-style-type: none"> 公演等が行われていない時は、自由に出入りできるスペース 眉山や城山が眺望できるスペース 等 	
「徳島」を象徴する施設		県産材を使用した温かみのある空間など	<ul style="list-style-type: none"> 県産材の使用 L E Dディスプレイ等の積極活用 (例：中央公園でホール内の様子を映すディスプレイ設置) 4 K、8 K、VR映像設備等の導入 	
駐車場・駐輪場	主催者等	敷地内に <u>10 台程度</u> 主催者用駐車場及び駐輪場を設置	敷地内での主催者用駐車場について、市計画以上を検討	
	来館者	ホール周辺の鉄道高架用地等を活用して来館者等の駐車場、 <u>60 台程度</u> を確保	<u>隣接地</u> （寺島公園、中央署跡地）に可能な範囲で、多くの台数の駐車場を確保するよう検討	
その他（託児室、事務室、管理室等）		<ul style="list-style-type: none"> 一時託児スペースとなる託児室（救護室としても利用可能）の設置 管理事務室は、来館者が認識しやすい場所に計画。各機能諸室との導線を確保 	市計画をベースに検討	